



柏原 要 議員
KANAME KASHIHARA



に伝統行事や所有する文化財について、中学2年生に市内の歴史や文化についての認知度にかかるアンケート調査を実施し、12月の協議会で結果について検証を行った。3月にはアンケート結果をふまえて計画の概要について協議する予定である。

令和7年度施政方針「歴史と文化を生かした個性的で魅力あるまちをつくる」の中で、「継続性・一貫性のある文化財の保存・活用について、『たつの市文化財保存活用地域計画』を策定し、適切な保存・整備を行うとともに、文化財の幅広い活用を図る。」とあるが

問 策定の進捗状況はどうか。

答 観光・教育・産業等と連携し保存・活用のために必要となる本市の歴史文化遺産の体制を整え、たつの市の多様な歴史文化の継承と、歴史文化のより一層の魅力向上を図ることを目的として、今年度から計画策定に着手している。

今年度は、学識経験者、連合自治会、観光協会、商工会議所、商工会、文化財の所有者、市、県で構成するたつの市文化財保存活用地域計画協議会を9月に設置し、市内の自治会、企業等

令和7年度は、令和6年度に調査した文化財について、必要に応じ現地調査等を行い、文化財の保存、活用についての方針及び措置案の策定、令和8年度は、計画の認定に向けて事務を進めていく。

問 策定後の展開はどう考えているか。

答 令和9年度からは、計画に定める保存、活用の方針、措置に基づいて進めていく。文化財の保存・活用を計画的・継続的に実施し、市民に文化財の大切さを伝えながら、次世代へ継承していけるよう推進していく。

その他の質問事項

- 「歴史的風致維持向上計画」
- 「景観行政団体」

市内の都市計画線引き廃止へ積極的検討を



高岸 博之 議員
HIROYUKI TAKAGISHI



市内の都市計画線引き廃止へ積極的検討を

1市3町が合併して20年を迎えようとしています。

新たな施策として1市3町の枠組みを超えた、線引きの見直しを打ち出すべき時期が来ているのではないのでしょうか。

現行の都市計画線引き制度は、昭和46年に無秩序な市街地の拡大を防止するという目的から導入されたものです。しかし、今となつては少子高齢化、人口減少のありや市街化を調整する必要に疑問を感じる状況であり、新宮地域では合併時には予想もなかった令和4年4月1日付けで過疎地域に指定されました。

そして、線引きが50年以上続く市街化調整区域の建築行為等に対する厳しい制限が都市部への人口流出や地域活力の低下に拍車をかける状況となつて、増

え続ける空き家の増改築や用途変更なども簡単ではなく、利活用が進まない状況にあり、都市計画の定期的な見直しは行われていますが、市街化調整区域と市街化区域の土地の価格格差であったり地域の利用度の制限があり、地域振興に繋がっていない状況です。

市は国・県主体の土地利用コントロールから「農業もしっかりと守る」たつの市の独自性のあるまちづくりをうたえて、線引きを一から見直す重要な時期に来ているのではないかと。

以下同つ。

問 線引き廃止の実現可能性についてどのように考えているのか。

答 県内他市の状況を注視し、引き続き調査、研究していく。

その他の質問事項

- 線引き廃止に関連した新宮地域について
- 過疎地域に市街化調整区域は必要か。
- 令和10年4月新宮小中一貫校の開校後の現中学校1校・小学校4校が廃校となる。その後の利活用について